

## 概要報告書

2022 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人マザーハウス
事業名	受刑者の心身の回復、及び社会復帰を目指すプログラム
<p>今期申請事業の実施は、受刑者や出所者等の、刑事施設経験者(以下、「当事者」という。)の心身の回復、及び真の意味での社会復帰を目指すことである。</p> <p>受刑者の心身回復は短期間で結果が出るものではありません。当事者がいかに真剣に回復を求めるか、または、周囲の支援者がどのような態度で臨むのが良いのか、試行錯誤を繰り返している中で、当法人が行っている「ラブレタープロジェクト」で社会の方々との文通交流により、当事者が他者との交わり方を学び、社会の方が当事者をいかに理解できるか、に尽きます。</p> <p>今回の回復プログラムの配布は現在当法人に会員登録している「789名」すべてにA3 左開き22ページの「回復プログラム冊子」を送付しておりますが、継続的に実施している当事者は「31名」で、その方々以外にもこれまで「延べ560名ほど」が回復プログラムを実施している。</p> <p>主に加害者家族から「息子が罪を犯したのでどうすればいいのか分からない」など入口支援を求められることが増えた。そのような場合、本人との面談し、更生支援計画を作成し、裁判には情状証人として理事長が出廷し、サポートを実施している。</p>	
	
<p>中央大学法学部の学生に社会復帰支援等の講義</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。